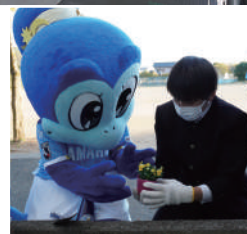




あなたがいて、わたしがいて、ジュビロがある。



Júbilo IWATA 2023 HOMETOWN REPORT

2023シーズン ホームタウン活動報告
(2023年2月1日～2024年1月31日)



はじめに

ジュビロ磐田は、皆様に〈より親しまれ愛されるクラブ〉を目指し、磐田市を中心に静岡県西部地域の課題や地域振興に対して様々な活動に取り組んでいます。多くのステークホルダーの皆様と連携しながら、サッカーやスポーツの普及はもちろん、地域イベントへの参加や子どもたちとのふれあいなどを通じて、より皆様の身近にジュビロ磐田がある生活を目指します。

【ジュビロ磐田のホームタウン活動方針】

①健康・スポーツの普及、振興

- ・誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくり

②地域課題への取り組み

- ・スポーツを通じたインクルーシブな社会づくり
- ・郷土愛をはぐくみ地元を誇れる取り組み

③地域振興への取り組み

- ・活気ある静岡県西部の街づくり



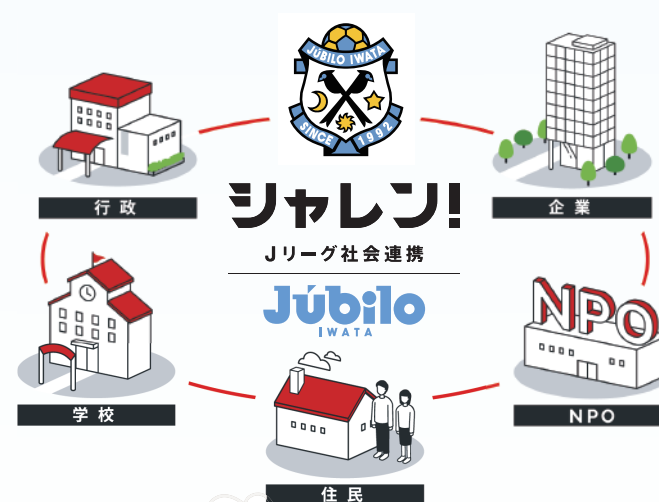
Jリーグをつかおう!

シャレン!

Jリーグ社会連携



Jリーグが掲げる「シャレン!」(社会連携活動)に取り組み、「ジュビロを使おう!」を合言葉に地域の課題を地域の皆様と一緒に取り組んできました。今後も人々が心身の健康と生活の楽しみを享受できる街づくりを目指します。



シャレン!(社会連携活動)とは?

社会課題や共通のテーマ(教育、ダイバーシティ、まちづくり、健康、世代間交流など)に、地域の人・企業や団体(営利・非営利問わず)・自治体・学校などとJリーグ・Jクラブが連携して、取り組む活動です。

3者以上の協働者と、共通価値を創る活動を想定しており、これらの社会貢献活動等を通じて、地域社会の持続可能性の確保、関係性の構築と学びの獲得、それぞれのステークホルダーの価値の再発見に繋がるものと考えています。また、Jリーグはシャレン!を通じて、SDGsにも貢献しています。

◇ホームタウン広域化

2023年5月、静岡県西部地域6市1町のホームタウン追加を承認され、ジュビロ磐田のホームタウンが磐田市に加え、7市1町となりました。

新たなクラブ理念『夢と感動を共に』のもと、ホームタウン地域で支えてくださる皆様に〈より親しまれ 愛されるクラブ〉を目指し、ホームタウン活動により一層取り組み、世界で躍動するクラブ創りに努めます。

HAMAMATSU

- ・招待事業
- ・サッカー巡回教室
- ・浜松東警察署1日警察署長
- ・パブリックビューイングin浜松まちなか



浜松東警察署1日警察署長

KOSAI

- ・招待事業
- ・サッカー巡回教室
- ・YouTube撮影



YouTube撮影「うなぎつかみ&かば焼き体験」

IWATA

- ・招待事業
- ・幼児合同スポーツ教室
- ・一斉観戦事業
- ・図書カード贈呈



小学生一斉観戦事業

◇ホームタウンで行った主なイベント

サッカーやスポーツの普及はもちろん、地域イベントへの参加や子どもたちとの触れ合いを通じて、より皆様の身近にジュビロ磐田がある生活を目指します。



浜松市

森町

掛川市

菊川市

御前崎市

FUKUROI

- ・招待事業
- ・サッカー巡回教室
- ・月見の里野外フェスタ



月見の里野外フェスタ

MORI

- ・招待事業
- ・サッカー巡回教室
- ・森町産業祭



森町産業祭

KAKEGAWA

- ・招待事業
- ・サッカー巡回教室
- ・掛川市警察署1日警察署長
- ・ラッピングバスお披露目会



ラッピングバスお披露目会

KIKUGAWA

- ・招待事業
- ・サッカー巡回教室
- ・スポーツ講座



菊川産業祭

OMAEZAKI

- ・招待事業
- ・サッカー巡回教室
- ・御前崎市大産業まつり



御前崎市大産業まつり

ジュビロ磐田はシャレンを通じて
SDGsに貢献しています。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



SDGsとは？

2015年に国際サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。

ソナエル東海

SINCE 2020

ソナエル東海とは？

“備えるをたのしもう”東海地区の6つのJクラブがチカラを合わせる「ソナエル東海」を発足。

清水エスパルス、ジュビロ磐田、藤枝MYFC、アスルクラロ沼津、名古屋グランパス、FC岐阜の6つのJクラブは、2020シーズンにJリーグのかけ声のもと、防災をテーマにしたプロジェクトをスタートしました。

今後30年以内の発生確率が80%を超えると言われる南海トラフ地震をはじめとしたあらゆる災害に対して「備えるを、たのしもう。」をコンセプトとし、地域を中心とした多様な連携先と共に、Jクラブの持つ資源を使って頂くことを通じて、災害から命を守り避難生活に備えるための防災意識を高め、そして、具体的な行動の喚起へと繋がって行くことを目指します。

詳しくはこちら





株式会社ジュビロ
代表取締役社長
浜浦幸光

日頃からジュビロ磐田にご支援・ご協力賜りまして、誠にありがとうございます。

昨年、ジュビロ磐田はJリーグ昇格30周年を迎え、このクラブが皆様と歩んできた30年という時間の重みを日々感じています。昨年5月には、ホームタウンを静岡県西部地域へ拡大し、たくさんの方々と共に31年目を迎えることができました。

今後も地域に深く根を下ろし、皆様の声をしっかりと受けとめ、行動に結び付けていくことで、皆様に心から長く愛されるクラブを目指して参ります。今後とも引き続きご声援のほど、よろしくお願い申し上げます。



2024
選手会会長
**MF 14
松本昌也**

昨シーズンはジュビロ磐田選手会活動へご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。新たな取り組みとして、「おもちゃでみんな笑顔になろう! プロジェクト」へ参加し、小児病棟へのおもちゃ贈呈を実施することができました。今シーズンも選手会だからこそできる活動を考え、取り組みます。これからもご協力をお願いいたします。



2024
選手会副会長
磐田市出身
アカデミー出身
**MF 77
藤原健介**

いつもジュビロ磐田への温かいご声援、ありがとうございます。僕は今シーズン、トップチームに昇格し3年目を迎えます。幼い頃、スタジアムのスタンドから見ていた憧れのクラブでプレーできている喜びを感じながら、生まれ育ったホームタウンにクラブの活動を通して恩返しができるよう頑張ります。

ホームタウン出身選手 2024シーズン在籍



磐田市出身
**DF 3
森岡 陸**



浜松市出身
**DF 4
松原 后**



浜松市出身
**DF 6
伊藤 慎人**



浜松市出身
**MF 10
山田大記**



浜松市出身
**DF 15
鈴木海音**



地域のサッカー普及・育成・文化の醸成、子どもたちの健康促進

磐田市幼児合同スポーツ教室

磐田市内の幼稚園・保育園・こども園を対象に幼児合同スポーツ教室を開催しています。人工芝が敷かれたヤマハ加茂グラウンドやジュビロ上大之郷グラウンドを会場に、園児たちが「しっぺいバス」に乗って集まり、ボールと触れ合ったり、試合をしたりして、ピッチ内を元気に走りまわりました。

2023シーズン
 磐田市幼児合同スポーツ教室
 参加人数

磐田市:43園 1,134人



サッカー巡回教室

菊川市、掛川市、袋井市、森町、浜松市の年長園児を対象に開催。2023シーズンからは、新たに御前崎市、湖西市への巡回を開始しました。

2023シーズン
 サッカー巡回教室 参加人数

御前崎市:2園	44人
菊川市:9園	265人
掛川市:13園	407人
袋井市:18園	516人
森町:3園	29人
浜松市:49園	1,072人
湖西市:4園	134人
合計:98園	2,467人



運動あそび教室

浜松市内の幼稚園を対象に、運動あそび教室を行っています。各園の希望を聞きながら運動メニューを作成することによって、園児たちに身体を動かすことの大切さを感じてもらい、運動を継続し健康な生活を送ってもらいたいと考えています。

2023シーズン
 運動あそび教室 参加人数

浜松市:32園 485人



サッカー大会の開催（一部抜粋）

- ジュビロカップ・シニアサッカー
- 掛川サッカー協会U-10サッカー大会
- ジュビロU-10サッカー大会（浜松地区）
- 浜松南ライオンズクラブ旗争奪サッカー大会
- ジュビロ磐田U-12とんぼカップ

サッカー教室の開催（一部抜粋）

- 放課後児童クラブサッカー教室
- ジュビロ磐田サッカー教室in春野
- 佐藤小親子運動教室
- JFAフットボールデー
- 言葉の教室
- 菊川市親子スポーツ教室
- 静岡大学ジュビロサッカークリニック
- ファミリーサッカー
- 個サカ

ユニバーサルスポーツ

知的障がい者サッカークラス
『ジュビロ磐田ルナソルジャス』
開講

「高校卒業後も仲間たちとサッカーを楽しんでもらいたい」という想いで開講。

スクール生 …… 43人

参加した大会・イベント

- ・チャレンジドサッカーフェスティバル
- ・名古屋経済大学杯
- ・西部パラフットボールフェスティバル
- ・わかふじ大会
- ・ジュビロ磐田レディース交流戦

参加した交流会

- ・西部IDサッカー定期交流会
- ・ジュビロ磐田レディース交流会
- ・インクルーシブサッカー教室



ジュビロ特別支援学校 チャレンジドカップ

(特非) 静岡FIDサッカー連盟が主催する、サッカー部のある県西部7校の特別支援学校が参加する大会で、ジュビロ磐田は大会運営のサポートをしています。

2023シーズンの優勝校

- 第1回: 袋井特別支援学校磐田見付分校B
- 第2回: 浜松特別支援学校城北分校A
- 第3回: 袋井特別支援学校磐田見付分校A



ジュビロIDカップ

サラグリーンフィールドにて開催。
県内外からチーム集まりました。



サッカー教室



恵松学園サッカー教室



浜名特別支援学校サッカー教室

はままつインクルーシブスポーツフェスティバル



ヤマハスタジアムさんぽ会

(一社)みらいTALK主催の「さんぽ会」がヤマハスタジアムで開催され、在宅人工呼吸器管理や経管栄養、吸引、導尿など医療的ケアを必要とするお子様とご家族が参加しました。



女子サッカー

静岡SSUボニータ パートナーシップ契約締結

女子サッカーを通じた地域サッカー振興のため、磐田市を中心に活動する静岡SSUボニータ((一社)静岡スポーツユニテッド)とパートナーシップ契約を結びました。

●ボニータ×ジュビロ エンジョイガールズサッカー

静岡SSUボニータのホームゲーム終了後、ジュビロの普及コーチが教えるサッカー教室を開催しました。

●ジュビロキッズ お仕事たんけん隊

静岡SSUボニータの大間由樹選手にサッカー選手としてプレーする気持ちやこれからの目標について伺いました。



2008年、磐田市を拠点に発足。2010年、日本女子サッカーリーグに参入し、2023シーズンはプレナスなでしこリーグ1部に所属。サッカーで人が動き、繋がり、感動できるような活動に取り組みます。

ジュビロ磐田
レディース 練習会

小学6年生～中学2年生までを対象に、練習会を開催しています。



スポンサー企業による地域貢献へのお手伝い

スポンサー企業と共に、地域の子どもたちのサッカーとの初めての接点や、面白さを体験してもらう機会を提供しています。

2023磐田U-12国際サッカー大会

大会の目的

- ① 青少年育成
- ② 競技力向上
- ③ 地域貢献

夏休みに海外チームを招集し開催する、磐田U-12国際サッカー大会が開催されました。2023年は海外3チーム、県外5チーム、県内4チームの合計12チームが参加しました。

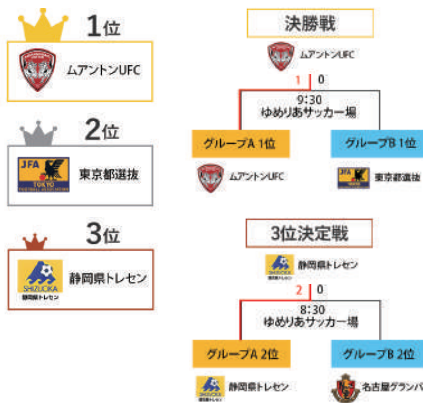


■ 予選Aグループ

	ムアントンUFC	水原三星	浦和	岡山	県トレセン	磐田	勝点	得点	失点	得失点	順位
ムアントンUFC	☆	100	301	100	201	700	15	14	2	12	1
水原三星	001	☆	001	101	004	301	4	4	8	-4	4
浦和	103	100	☆	100	004	900	9	12	7	5	3
岡山	001	101	001	☆	004	200	4	3	7	-4	5
県トレセン	102	400	400	400	☆	700	12	20	2	18	2
磐田	007	103	009	002	007	☆	0	1	28	-27	6

■ 予選Bグループ

	ブレイラムUFC	横浜FM	名古屋	東京都選抜	清水	県WEST	勝点	得点	失点	得失点	順位
ブレイラムUFC	☆	300	102	100	100	101	10	7	3	4	3
横浜FM	003	☆	002	003	000	102	1	1	10	-9	6
名古屋	201	200	☆	001	000	200	10	6	2	4	2
東京都選抜	001	300	100	☆	500	100	12	10	1	9	1
清水	001	000	000	005	☆	001	2	0	7	-7	5
県WEST	101	201	002	001	100	☆	7	4	5	-1	4



サーラカップ

静岡県・愛知県・岐阜県・神奈川県での予選を勝ち上がった16チームによるトーナメント戦をヤマハスタジアムにて開催。過去のサーラカップ出場選手の中には、現在プロ選手として活躍している方もいます。



サーラキッズ

栄養セミナーやフィジカルコンディショニング講座、サッカー教室の3つのプログラムを実施するなど、総合的な育成プログラムとしてサッカーの普及に努めています。



明治安田生命保険相互会社 浜松支社サッカー教室

明治安田生命保険(相)様による「地域社会への貢献」として、全国にある支社のホームタウン地域のお子様を対象としたサッカー教室を開催しています。



スポーツを身近に、より健康で豊かに

スポーツを通じて、地域の皆様とより密接に交流し、
健康で豊かな地域づくりを目指しています。

ジュビロ公式チアリーダーズ「Jubies」

「Jubies(ジュビーズ)」は、ジュビロを応援したい!ダンスが大好き!ホームタウンを笑顔でいっぱいにしたい!という女の子たちが、その場にいる人を元気づけ、全員を笑顔にすることを目指してレッスンに励んでいます。人々に「夢と感動」を与えるスポーツの楽しさ、チームワークの大切さを学んでいます。



Jubies パフォーマンス披露

三井ショッピングパーク ららぽーと磐田様、
袋井市月見の里学遊館にて、応援パフォー
マンスを披露。



ジュニアチアダンス教室

磐田市スポーツ協会の自主事業への協力として、スポーツ・健康をテーマとした教室開催をサポートしています。

様々な地域スポーツの推進

ジュビロメモリアルマラソン

(特非) 磐田市スポーツ協会が主催となり、第26回目を迎えたジュビロ磐田メモリアルマラソン。
ジュビロ磐田の選手が参加し、ランナーの皆様を応援しました。



ジュビロヨガクラブ

18歳以上の方を対象に「続けることでカラ
ダが変わる」をスローガンとして、ヨガ教室を
開催しています。



その他の活動(一部抜粋)

- 磐周中学生卓球大会
- 小学生バレーボール大会
- わんぱく相撲磐田場所
- 菊川市ケガの予防講座

ジュビロが育てる未来のジュビロ

ジュビロで育った選手が、やがてプロ選手としてJリーグや世界の舞台で活躍すること、サッカー・スポーツを継続し健康に成長すること。
そしてまた、子どもたちが指導者や子を持つ親となったとき、サッカー・スポーツやジュビロを愛する気持ちを、
その次の世代につなげてくれること。それが私たちの願いです。

サッカーの普及

「この地のシンボルとして、夢と感動を共につむぎ 心支える存在でありつづける」というクラブ理念のもと、サッカーの普及を通してジュビロファミリーの輪を広げるとともに、地域のスポーツ文化の醸成に貢献しています。

選手・指導者育成への協力

ジュビロ磐田では、ホームタウン地域のサッカー普及・育成を目指し、地域の指導者の皆さんと協力して、トレセン活動を行っています。

指導者講習会やサッカークリニックを開催し、ジュビロ磐田の持つノウハウを地域に還元し、スポーツを楽しむ環境づくりに努めています。



ジュビロでは、各トレセンの指導に関わっています。

サッカースクール出身選手(2024シーズン在籍)



3. 森岡陸
ジュビロ
サッカースクール



10. 山田大記
ジュビロ浜松SS

※この他にも多数のサッカースクール出身選手がJリーガーとして活躍しています

サッカースクール

約40年の歴史をもち、地域サッカーの普及・育成に長年努めてきました。子どもたちにとって、サッカーとの出会いの場所でもあるサッカースクールでは、多くの子どもたちに技術だけでなく、「サッカーを楽しむ気持ちを育むこと」を第一目標に指導をしています。

【スクール生】

キッズ～小学6年生／1,041人

●ジュビロサッカースクールイベント

サッカー経験の有無に関わらず、年長園児の子どもを対象に、3会場でサッカー教室イベントを開催しました。



●親子サッカー教室

年長園児の子どもとその親の2人組を対象に、ヤマハスタジアムで親子サッカー教室を開催。親と一緒に参加することで、子どもたちの明るい表情を見ることができました。



ジュビロ磐田U-18 全国大会壮行会

ジュビロ磐田U-18の第47回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会 全国大会出場を祝い、ヤマハスタジアムにて壮行会を実施しました。

キャリア・デザイン・サポートプログラム Jリーグ版よのなか科

ジュビロ磐田U-13の選手を対象に、人材育成活動における選手教育の取り組みとして実施。全5回に及び、Jリーグが目指すものや関わる職業、自身のキャリアイメージについて考えました。

地元への誇りと愛着の醸成

磐田市主催『磐田市小学生一斉観戦事業』

磐田市が目指す「Jクラブと地域社会が一体となって実現する、スポーツが生活にとけ込み、人々が心身の健康と生活の楽しみを享受することができる町」の取り組みのひとつとして市内全22校の小学5・6年生をヤマハスタジアムへ招待しています。この取り組みは今回で12回目を迎えました。

【目的】

- ①スポーツに関心を持つきっかけになる
- ②チームへの愛情はもとより、磐田市をふるさととして誇りに想うこと
- ③将来にわたって郷土を愛する気持ちを育むこと



環境問題への取り組み

しずおかプロスポーツ・ゼロカーボン推進宣言

県内プロスポーツクラブをつなぐ脱炭素ネットワークによる、しずおかプロスポーツ・ゼロカーボン推進宣言を行いました。県内プロスポーツクラブをつなぐ脱炭素ネットワークは、静岡県地球温暖化防止活動推進センターと県内スポーツクラブが共同で立ち上げており、競技・リーグの垣根を超えて課題解決に取り組みます。

その活動の一環として、ヤマハスタジアムでは、試合日に雑紙回収を実施し、リサイクル活動に貢献。出来上がったトイレトペーパーをホームゲーム開催時に使用しています。



お花で笑顔に!プロジェクト

自治体の企業協賛を活用した花壇整備実証実験事業として実施。企業協賛による花苗の寄付、学校との協働による花壇デザイン、維持管理作業を行います。浜松市から始まった本事業は、2023シーズンに磐田市とも締結し、小・中学校それぞれ1校ずつ実施しました。



森林フェスタ

SDGsパートナーである(株)リサイクルクリーン様ご協力のもと、ヤマハスタジアムでの試合時に空き缶・ペットボトルを回収しました。2023シーズンは、缶1,090kg、ペットボトル470kgを回収し、25本の苗木を購入することができました。苗木は、(株)リサイクルクリーン様、(株)エフ・シー・シー様、(株)アイジーコンサルティング様のご協力により、11月に浜松市天竜区の山に植樹されました。



サーラ・ジュビロコラボ ロス材100%リサイクルゴミ袋

サーラグループ様と共同でロス材100%のリサイクルゴミ袋を製作し、浜松市・湖西市に寄付しました。浜松市内特定の工場で排出したロス材を県内工場で原料化し、浜松市内の工場へ戻して制作。県内で全て製造することで運搬時の温室効果ガス削減にも努めています。



ジュビロと自治体による「まちづくり」

ジュビロの伝える力を活用して、交通安全や人権を守る運動などの啓発活動を推進しています。

静岡いわた PR大使就任

磐田市の認知度、イメージ向上および市民の磐田市への愛着や誇りの醸成を目的とした「静岡いわたPR大使」に森岡陸選手が就任しました。



磐田市消防本部 啓発活動

磐田市消防本部による防災意識向上の呼びかけがホームゲーム開催時のジュビロ広場にて行われました。



浜松東警察署 1日警察署長

鈴木海音選手が、浜松東警察署1日警察署長に就任し、110番の日(1月10日)にちなんだイベントに参加。110番の適切な利用を呼びかけました。



掛川警察署 1日警察署長

藤原健介選手が、掛川警察署1日警察署長に就任し、「防犯交通安全イベント」に参加しました。



入学おめでとう キャンペーン

2012年より磐田市と協力して磐田市内の小学校に入学する新1年生に交通安全バッグを贈呈しています。



赤い羽根共同募金

(福) 静岡県共同募金会が主催し、(福) 磐田市社会福祉協議会が実施する赤い羽根共同募金運動の呼びかけを、ホームゲーム開催時のジュビロ広場でも行っています。



自閉症啓発デー

国際連盟の定める「世界自閉症啓発デー(4月2日)」に合わせ、シンボルカラーである『青色』にヤマハスタジアム前のジュビロくん像をライトアップしています。



その他の活動 (一部抜粋)

- 磐田市消防団応援大使(森岡選手)
- 交通安全グッズ贈呈
- 交通安全のぼり
- チャイルドシート着用モデル園認定式
- 東海若手市長の会スタジアム見学
- 磐田市PR動画撮影協力
- 食品ロス削減キャンペーン
- 静岡県教育研究会保健体育研究部夏季研究大会

自然災害への取り組み

ソナエル東海



ソナエル東海

SINCE 2020

“備えるをたのしもう。”をコンセプトに、東海地区の6つのJクラブが防災のためにチカラを合わせる「ソナエル東海」が2020年に発足。Jリーグが推進する社会連携活動「シャレン!」の一環として、「防災」をテーマとしたプロジェクトを推進します。

愛知大学

～正解のゴールにシュートを決めろ～

愛知大学地域貢献事業団体『トライ☆わたし』がジュビロ広場で防災をテーマにしたイベントを実施しました。

Jリーグ シャレン!×ヤフー防災模試
「ソナエルJapan杯2023」

Jリーグとヤフージャパン(株)様が連携し、「ヤフー防災模試」を実施。自然災害による被害を少しでも減らすこと、救える命を増やすことを目的に開催されました。



遠州お茶ぱんお披露目会

近年、減少傾向にある静岡県内の緑茶生産量・消費量を盛り上げるべく、ホームタウン全市町の緑茶を使用した缶入り防災パンを作る、『遠州お茶ぱんプロジェクト』を発足。ChaOIフォーラムが中心となり、各市町茶担当課、静岡県、エスエスフード(株)様が製品開発に関わりました。



緑茶に含まれるテアニンが気分を落ち着かせる効果を持ち、災害時の非常食として役立ちます。また、しっとりとした食感で水分を多く取らずに食べられるため、避難所生活でトイレの心配も軽減されます。まずはジュビロ磐田の商品として、ゆくゆくはホームタウン地域の避難所に備える防災備蓄品としてご活用いただくことを目指しています。



地域に寄り添うクラブでありたい

磐田市健幸プロジェクト「ジュビロ飯」

磐田市産の食材を使用した栄養バランスのとれたメニューと運動を合わせて楽しみ、健康で幸せな生活を目指す取り組み。

2023年9月には、トップチーム・ユースチーム所属選手・スタッフを対象に、Jubilo Clubhouse Athlete Centerの食堂での提供も始まりました。

ジュビロ飯認定基準

- ①1食で主食・主菜・副菜がそろっている
※一皿でまとまっていなくてもOK
- ②ビタミンDを含む食材を1品以上使用する
- ③磐田の地域産物を1品以上使用する
- ④「食事は野菜から食べ始めること」の情報提供をする
- ⑤運動に関する情報提供をする



アウェイ出展

ジュビロ磐田のアウェイゲーム時にホームクラブ協力のもと、特産品などを販売することで磐田市をPRしました。



スタジアム販売

菊川浜松ジュニアビレッジや聖隷チャレンジ工房 (CHOUCHOU) が、それぞれ自分たちが商品開発に関わる・製造する商品を販売しています。



ジュビロフードドライブ

ホームゲーム時に実施した「ジュビロフードドライブ」。集められた食品を静岡市葵区の「フードバンクふじのくに」へお届けしました。

選手による活動

一般社団法人 Re:Frame

2022年9月、山田大記選手、小川大貴選手が活動の一本化を目指し立ち上げ、現在は金子翔太選手もメンバーに加わっています。個人として行ってきた、サポートを必要とするご家庭への物資等の提供、児童養護施設・小児病棟の子どもたちとの交流等に加え、子ども食堂の設立と共に、子どもたちの体験機会を定期的に創出できる仕組みづくりに向けて活動しています。

また、地域事業者とのコラボ企画を通して、活動資金を調達すると共に、活動に共感・賛同してくれる仲間を増やすための取り組みをしています。

アスリート弁当販売「WAIKAのお台所×Re:Frame」

浜松市浜名区の「ごはんがおいしいデイサービス和彩花」のキッチンスタッフご協力のもと、山田大記選手、小川大貴選手、大津祐樹氏がそれぞれ監修した弁当をホームゲームやジュビロデーの会場で販売しました。売り上げの一部をRe:Frameの活動資金にさせていただきました。



レモネードバー

ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)様ご協力のもと、ホームゲームにてレモネードバーを出店。レモネードの売り上げの一部は、支援を必要とするご家庭・養護施設・小児病棟の子どもたちへの支援や交流に使用させていただきました。



クリスマス会

山田大記選手、小川大貴選手、金子翔太選手が聖隷浜松病院、浜松医科大学小児病棟、磐田市立総合病院にクリスマスプレゼントを届けました。



One Shizuoka Project

“スポーツの力で静岡をひとつに”を合言葉に県内4つのクラブ(磐田・藤枝・清水・沼津)の選手会が、いつも支えていただいているサポーター、スポンサー、地域の皆様に少しでも支えるため、合同でプロジェクトを立ち上げ、活動しています。



グッズ販売

イベント会場やECサイトでグッズ販売を行っています。収益は寄付、または活動費に充てられます。

ONE SHIZUOKA PROJECT
大運動会2023

6月4日、浜松アリーナにて開催。静岡SSUボニータ、アグレミーナ浜松、静岡ブルーレヴズ、アザレア・セブンの選手も参加し、小学5・6年生の子どもたちがスポーツを楽しみました。

プロのアスリートと楽しもう
SPORTS FESTIVAL

12月16日、静岡大学静岡キャンパスにて開催しました。

県立こども病院訪問

サッカー教室
@三島市南二日町グラウンド

12月27日に開催。県内J4クラブ、静岡SSUボニータ、アグレミーナ浜松の選手が参加しました。

選手会による活動

おもちゃでみんな笑顔になろう！
プロジェクト

(株)エド・インター様の「おもちゃでみんな笑顔になろう！プロジェクト」に賛同し、共同で聖隷浜松病院小児病棟へおもちゃを寄付しました。このプロジェクトでは、(株)エド・インター様の『GENI』のおもちゃの中で、安全性や機能面では問題ないものの、小さな傷・少しの塗装ミスが出てしまったものを贈ります。おもちゃによって子どもの成長を育み、さらに産業廃棄物を削減することでCO₂の削減につなげていくことを目的としています。



小学校訪問

磐田市内の小学校22校を選手が訪問し、一斉観戦授業での応援のお礼を伝えました。



卒業メッセージ贈呈

磐田市内の小学校を卒業する児童へのお祝いの気持ちと、一斉観戦授業をはじめとした日ごろの応援への感謝を込めて、全小学校へお祝いのメッセージを届けました。



寄付金贈呈

磐田市の教育に役立てて欲しいと選手会が磐田市教育委員会に寄付しました。



図書カード贈呈

中学生向けの推薦図書を選定し、「選手が選ぶ“中学生のうちに読んでおきたいおすすめ本”」と題して磐田市内の中学校に図書カードと合わせて送りました。磐田市内小学校にも図書カードをお送りしています。



あなたの町で出会うジュビロ

ジュビロをより身近に感じていただけるよう、地域の皆様のイベントに参加したり、スタジアムの外で楽しんだりできるようなイベントを開催しています。

掛川市 ラッピングバス お披露目会



湖西市 【共創型コミュニティ企画動画】 残暑を吹き飛ばせ！ うなぎつかみ&かば焼き体験

共創型コミュニティ「JubiROOM」のメンバーの皆様と共にジュビロ公式YouTubeへ投稿する動画内容を企画。今切体験の里「海湖館」ご協力のもと、選手がうなぎつかみ&かば焼き体験を実施しました。



袋井市 法多山 風鈴まつり

袋井市・法多山にて開催中の「風鈴まつり」とコラボし、選手の願いや想いを綴った短冊をかけた風鈴を展示しました。



浜松市 パブリック ビューイング in 浜松まちなか



ジュビロ磐田 ホームタウン推進協議会

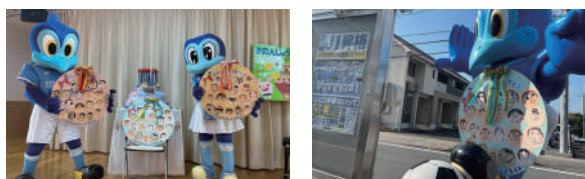
ジュビロ磐田似顔絵コンテスト

グランプリ・準グランプリの方はホームゲーム時にスタジアムで表彰します。



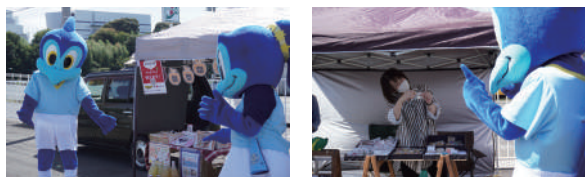
ジュビロくんデコレーションイベント

11月16日はジュビロくんの誕生日。磐田市内幼稚園児童からジュビロくんへ大きなメダルと演奏を贈っていただきました。



スタジアムマルシェ

ヤマハスタジアムで開催されたパブリックビューイングの日のジュビロ広場にて、マルシェを開催。磐田市内事業者を中心にグルメ・物品の販売を行いました。



地域産業の振興

地産地消応援プロジェクト

遠州地域で生産されたモノを積極的に発信するため、地産地消のシンボルとなるロゴマークを作成。

このロゴマークは、ジュビロ磐田が製造・販売する商品に地元の素材や特産品を利用していることを表現しています。遠州地域の魅力を県内外に発信すると共に、認知向上と利用拡大を図っていくことを目的としたものです。

デザインについて

緑色で静岡県の地図を表現し、サックスブルーで「遠州」をアピール



商品例



ハンドタオル



片面ガーゼタオルハンカチ



遠州お茶ぱん



学校教育関連

《小学校》

ジュビロキッズ配布

袋井市、森町、磐田市、浜松市の協力のもと、4市町の小学生全員に学校を通じてミニ新聞を配布。表紙の「君の心にエール」では、選手から夢に向かって頑張る子どもたちに向けたメッセージを掲載しています。



スタジアム見学

ふじのくにスポーツ
ふれあいパスポート
親子招待企画

県内J4クラブ合同企画として、県内の小学校に通う児童とその保護者の皆様を対象にホームゲームへの招待企画を実施しました。この企画は、静岡県民共済生活協同組合様のご協力と、静岡県教育委員会の後援により実現しました。



《中学校》

職場体験

企業訪問・
職業インタビュー

《大学》

静岡産業大学冠講座

静岡産業大学磐田キャンパスでジュビロのスタッフが講師をする冠講座。2004年に開講し、ホームゲームでは学生が企画したイベントを実施しています。



《その他》

ホームタウン
小中学生・教職員招待

各市町教育委員会ご協力のもと、在学の小中学生・在勤の教職員の皆様にホームゲームに招待しました。また、磐田市協力のもと、磐田市小中学生招待を3試合実施しました。

スタッフ学校訪問
講演事業

ホームタウン地域の小中学校を中心にクラブスタッフが訪問し、サッカーに携わる仕事や知識、夢などについて語り、子どもたちが将来の夢や希望を抱く心を育む活動を行っています。

オリジナル
クリアファイル贈呈

(株)遠州日石様、(株)スマートアグリカルチャー磐田様、電器堂(株)様、(資)窓プランニング名古屋様のご協力により、磐田市内の小中学生にジュビロ磐田オリジナルクリアファイルを贈呈。イラストレーター・ホペイロ中島さんがデザインしたジュビロくん・ジュビィちゃんを使用しました。



サッカーを通じた交流

行政、住民、観光、協会など、様々な方々と協働の場を作っています。

浜松デー

NHK大河ドラマ「どうする家康」の放送を記念し、「Yes!家康プロジェクト浜松」浜松デーを実施。また、浜松市農林水産業PRブースとして特産品を販売する店が4店舗出店しました。



磐田デー

磐田市内の全小学5・6年生が参加した一斉観戦事業と連動し、磐田デーを実施。雨にもかかわらず、スタジアムには小学生たちの大歓声が響き、試合にも勝利することができました。



人権サポーター マッチ

「みんなで人権サポーターになろう」をキャッチフレーズとして、子どもたちに「子どもの人権110番」の普及を目指し、物品配布や大型映像を使用した啓発活動をしました。

Jリーグ昇格30周年記念 オールホームタウンマッチ

ホームタウン拡大を記念して、全市町のマスコットキャラクターが集合しました。また、推しスポーツ体験会や特産品販売を実施。選手入場時には、各市町の紋章が描かれた旗を掲げました。



地域イベントへの参加

御前崎市 大産業まつり



菊川市 菊川産業祭



掛川市 ラッピングバス お披露目会



袋井市 ブラジル人学校 競技大会inジャパン



森町 森町産業祭



磐田市 城之崎城 フェスタ



磐田市 みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市



浜松市 労福協祭り



浜松市 天竜産業観光 まつり



※ 順不同 2024年1月31日現在

オフィシャルパートナー



ヤマハ発動機(株)／サラグループ／(株)静岡新聞社・静岡放送(株)／浜松ホトニクス(株)

オフィシャルサプライヤー



Admiral

Admiral

ユニフォームパートナー

ヤマハ発動機(株)／サラグループ／浜松ホトニクス(株)／サクラ工業(株)

スーツサプライヤー

SERENO

ゴールドメンバー

遠鉄グループ
浜松ホトニクス(株)

(株)コーシンサービス
三井住友海上火災保険(株)

(株)静岡新聞社
ヤマハ(株)

静岡放送(株)
ヤマハ発動機(株)

(株)静岡銀行

シルバーメンバー

石川建設(株)
(株)サンライズジャパンホールディングス
野村證券(株)

(有)伊藤鋳金工業所
JAバンク静岡
浜名梱包輸送(株)

(株)SBSプロモーション
(株)静岡第一テレビ
ヤマハロボティクスホールディングス(株)

(株)大塚
シダックスコントラクトフードサービス(株)

(株)クレステック
大和証券(株)



株式会社ジュビロ

〒438-0025 静岡県磐田市新貝2500

<http://www.jubilo-iwata.co.jp>